

## 全瓦連技能グランプリ 2018 九州大会 IN 福岡競技課題

I. 日程 平成 30 年 3 月 16 日（金）～17 日（土）  
福岡市春日市 クローバープラザ春日

### 日程及び作業時間

3 月 16 日（金）	集合時間	12 : 30		
	開 会 式	13 : 00		
	大会説明及び抽選	13 : 40		
	選手道具搬入・点検作業	14 : 10		
	作業開始	14 : 45	}	2 時間 1 0 分 作 業
	作業終了	16 : 55		
3 月 17 日（土）	集合時間	8 : 30		
	作業前質疑	8 : 45		
	作業開始	9 : 10	}	1 時間 3 5 分 作 業
	休 憩	10 : 45		
	作業再開	11 : 00	}	1 時間 1 5 分 作 業
	昼食休憩	12 : 15		
	作業再開	13 : 15	}	1 時間 作 業
	作業終了	14 : 15		
	架台見学	15 : 30		
	閉 会 式	16 : 00		
作業時間		合 計	6 時間 0 0 分	

※ 競技は架台 1 台を 1 名の選手が競技をする。

※ 瓦の点検はカケやキズの点検のみとし、選別は作業時間に行うこと。

※ 当日は選手以外競技エリア内に入らないこと。

## Ⅱ. 【仕様】

※ 下記の仕様に従い課題図を参考にして屋根架台に瓦を葺きなさい。

1. 使用瓦は三州いぶし瓦 5 3 A 判防災切落棧瓦を使用する。
2. 全ての瓦の納まりは現場作業を想定した施工とし、雨仕舞に配慮すること。また架台瓦葺き以外の面は板金屋根を想定する。
3. 瓦の葺き方は、引掛棧空葺き工法（馴染み土の使用は可）とする。ルーフトープを垂木通りに使用し、瓦座、瓦棧木をその上に留め付ける。
4. 軒瓦は、施工図を参照のうえ一文字軒瓦と万十軒瓦を使用し、軒瓦の尻部分は銅線緊結もしくはビス留めとする。
5. 袖瓦は、尻部 2 箇所を銅線緊結もしくはビス留めとし、袖挿み部は左右の袖瓦を留めに納める。又、袖瓦下端外面と架台外面までの寸法は左右対称とし、袖瓦の出寸法納まりは破風板より左右対称とする。
6. 巴瓦は、袖瓦上に留めに納め、2 箇所を野地よりトンボにて緊結する。
7. 軒瓦の出寸法は瓦座外面から 60～90 mm（流れ寸法）とする。  
なお、計測の位置は瓦座から軒瓦の水垂れ外面までの寸法とする。
8. 棧瓦は全数ビス留めとする。定着用南蛮漆喰を使用してよい。
9. 棟補強金具は 38mm ビスにて野地に留めつける。
10. 棟熨斗瓦は互いに全数緊結する。棟の台土は台熨斗瓦より 30 mm 以上内側に入れ、棧瓦に触れぬように注意する。割熨斗瓦のチリは勾配で 10 mm とする。熨斗瓦の勾配は 3 寸勾配以上とする。素丸瓦は棟芯木よりパッキン付ビスで緊結する。
11. 鬼瓦の緊結は、# 19 の銅線を使用し 3 本を縷状にして野地に緊結する。
12. 軒・袖・角等外周部の瓦はパッキン付きビスにより、補強し野地に留め付けをする。
13. 葺き土は南蛮漆喰とし、25 kg 入り 5 袋とする。
14. 瓦を破損した場合は申し出により支給するが、減点の対象とする。
15. 副資材の追加支給はしない。但し南蛮漆喰の追加は認める。
16. 作業時間を超過した場合は、失格とする。

## Ⅲ. 【注意事項】

1. 合端は支給の合端台を使用し、各自の競技架台の前ですること。
2. 他人の工具の貸借は禁止する。
3. 副資材として、接着剤・粘着テープを用いることは不可とする。

#### IV. 【器具工具】

- ★ 使用する器具・工具は「使用工具一覧」に表記する物とし、電動工具の電源は所定のコンセントを用いる。

治具は認めるが横50cm縦30cm高さ20cmの箱の中に入る物とする。（組立て又は連結して箱の中に入らない物は認めない。）競技委員が認めない治具は使用不可。

尚、使用に際し判断に迷う治具については当日競技委員に判断を仰ぐこと。

#### V. 【安全作業】

- ★ 服装は高所作業を考え、シャツの袖・ズボンの裾を留め、地下足袋等を履き、安全带・ヘルメットを着用のこと。（ヘルメットは会場にて支給）
- ★ 他人を負傷させたり、本人が怪我をした場合、その状況により失格とすることもある。

#### VI. 【作業態度】

- ★ 選手は各都府県の代表を自覚し、競技を行うこと。
- ★ 応援団の目に余る指導やアドバイスがある場合には競技委員協議の上、平等を期するため選手の作業態度の評価で減点及び失格の対象とすることがある。

#### VII. 【作業終了】

- ★ 作業終了は、清掃、整理整頓を終え、ヘルメット、安全带、腰袋を外してから、合図を行う。